

刊夕 6三月八

# 常磐毎日新聞

刊日

定価 一部五銭 二部十銭 三部十五銭 四部二十銭 五部二十五銭 六部三十銭 七部三十五銭 八部四十銭 九部四十五銭 十部五十銭 十一部五十五銭 十二部六十銭 十三部六十五銭 十四部七十銭 十五部七十五銭 十六部八十銭 十七部八十五銭 十八部九十銭 十九部九十五銭 二十部一百銭

## 日本精神と神社 (九)

石城郡神社總代人大會席上演筆記

國學院大學教授 河野省三

武士道は第一に責任を尊重する、第二に其の社會生活に適すべく訓練されて居る、此の責任尊重と社會生活に適した訓練、これは武士道の二大長所である、是れは如何なる社會でも如何なる國家でも如何なる人間にも必要である隨つて英國の有名な學者エッチャーウエールズと云ふ人は一現代の理想郷に關する本を書いてをりますが、それに依るとさう云ふ理想的社會の中にも最も優れた一團の人達が居り、まして其の最も優秀な人達を指してサムライと名づけて居るのである

第五十九議會に關聯した一つの面白い現象は、安達内務大臣が新聞記者に向つて

## 潮聲俳句 第四十六回句選

田植

出征の留守の田植を共同ひけり  
早乙女の笠かたふけて畦を行く  
朝月に水のつめたき田植かな  
夕虹や田植の唄とあさやかに  
親立ては兒は土手に泣く田植哉  
父を呼ぶ兒に唄のやむ田植哉  
苗食ふて叱られて居り田植馬  
田植終へて水見廻りの翁かな  
簑と笠雨の田植のものゝし

松堂 鶴月 芳霞 十里 眞砂 武門 石城 文狂

ものが少ないだけのことで  
あ其の根本素質としては發  
明的天才が豊かである、こ  
れが日本精神の偉大なる特  
證である、それは他の方面  
からも日本の歴史が證明し  
て居ります。

平新川町十九

## 木村病院

電話一六四番

産婦人科 院長 木村寅次郎  
内臓外科 醫學士 内 木宗八  
泌尿器科

## 御位牌と 佛壇佛具

平町新川町  
橋本屋佛具店  
電話一六三番

## 石炭の大特賣

塊炭 正味十貫目 俵 金貳拾錢  
『品方良ク』『値ガ安ク』  
『目方ハ正確』『デス』  
トニカク一度……  
使ツテ見テ下サイ  
配達ハ一俵ヨリ致シマス  
御注文ハ……  
電話三七番  
平 驛前  
阿部石炭商店

## クラクラフ



代理店 長 松崎商店  
大室屋  
平町新川町(電一七二)

## 御新佛御供養の 御法名人提灯の大奉仕

瓜形 一對 房付 金一圓五十錢より  
角形 同 金一圓九十錢より  
其他岐阜提灯種々取揃へてあります  
是非御下命は電話九五番  
平四丁目  
スガノヤ提灯店

## 三井

## タクシー

電話六八五番

飽迄毛目的貫徹

地主負擔歩分等をも夫々協商致來り候事情をも篤と御審議を給はり度其の交通上の實際は夙に御鑑察被下候通にして逐年交通量を増し普通砂利敷程度

度の工法にては却て不經濟なるのみならず一雨毎に破損するの實況にして市街地として甚だ遺憾の次第に付是非御施工相成候様致度此段及陳情候也

住吉屋本店で歡迎會

新任の渡邊警察部長は、預通  
り地方初巡視の爲め、本日午  
日の締切日迄には百名以上  
に達するであらうと

全工事完成

萩原の三縣議發起の許に午後六時より住吉屋本店に官民合同歡迎會を開催すると

既報石城郡下小川、平窪兩村境の小川江筋附近山林は災害復舊工事として本年五

受付早々

志望者十三名  
此分では百名以上に

既報平商業學校内平實業公  
民學校にては去る一日より  
願書受付を開始したが僅か  
二日間の内に志望者十三名  
あり此分にては来る九月一

役員會開く

へ連絡小學校より行商實習生を募集中であるが本日は内郷村高坂校の希望者十七名が申込みをなしたと

平裁判所  
八四、〇

平營林署	平驛	平稅務局	平郵便局	平警務署	平警務署	土木監督所	平役場	平刑務所
八一、〇	八三、〇	八八、〇	八一、五	七九、〇	八一、〇	八〇、〇	八二、〇	七九、〇

第一一信

た今日の  
天氣はかすかに太陽の光が  
雲間からさしこんでゐるさ  
りです。天氣を氣遣ひなが  
ら停車場に來て見るともう

大分來てゐる、藤田先生は、  
かひがひしく荷物の方を御  
世話をして下さつてゐる、  
トラツクに山と荷物をつん  
で一足先きに四倉に行きま  
した。

「先生の言ふ事をきくんで  
すよ」  
「あぶない所に行くんでは  
ありませんよ」

「先生お頼みいたします」お母さんやお姉さんの注意などとはもう耳にたこの様です、何せ街から一步も出た事のない連中ばかりですから大はしやぎです。八時二十分いひ古した言葉ではあるが汽笛一聲諸共になつかしい平驛を後へ後へと残して汽車は一路目的地にバク進する。

磯の香が、つんと鼻に来る。  
なつかしい香です、我等の  
八日間の宿は舊校舎の北側  
四教室です。六十四名の健  
児は夫々力に應じて整理か  
たづけです、十一時すぎに  
は居心地のよい舎となりまし  
た。

始め体重測定をしました。一番軽いのが五ノ二のH君二二キロ、K君の二二・五キロです、先生では水竹先生が四十五キロ、校長先生が六〇キロ、坂内先生が四七五キロです、藤田先生が六、二五キロ、松本先生が五五キロ、上川先生はまだはかりませんが六〇キロ以上でせう。

.....

お父さんお母さん、それから兄さん姉さんたち、決して御心配なく、僕達は先生の教へを何よりもよく守つてきつと立派な體になつて歸ります、明日は天氣の様です。初日の便りはこれでやめます。左様なら。

豚肉	砂糖	木炭	清酒	醬油	味噌	平麥	白麥	白米
並上	赤白	雜櫛	同	一升	一貫匁	同	同	三等二等一等
同同	同百匁	同同	同	一	五〇〇	六五	一五六	
十五〇〇	一一三〇	一五四〇	一〇〇〇	三五〇〇	一〇五〇	一五〇〇	一五〇〇	

牛肉  
並上  
同同  
二四  
五〇  
〇〇

回求人の部

△農夫 三十才以下 尋卒

給料面談（高久村某）

△女中 三十才以下 尋卒

月二圓(平町某旅館)

△店員三十才迄尋卒

月五圓(四倉町某)

回文文法

國  
又  
耶  
の  
音

△女中 三十三才 尋三修

給料面談(平町某)

△外交員 三十二才 尋卒

給料面談（好間村某）

△ 士 工 夫 二 十 七 字 學 區

給料面談（双葉郡某）

美味！

芳醇！

宗正らひた

山崎合名會社  
電話一〇番

# 赤子の白骨現れ

## 端なくも嬰兒殺發覺

### 本日検事局にて取調

# 十八娘の罪

## 平第一校の

### 水泳練習

#### 無事に終る

既報平第二小學校に於ける豊岡村海濱海岸學校は昨日迄で終つたが一人の落伍者もなく且つ何等の事故も生じなかつた

## 平第一校の

### 登山隊出發

既報平第一小學校にて明日一泊二日間の豫定にて根本(菊)中村、鈴木、井上、大和田、根本(榮)各訓導引率の下に關ヶ井嶽登山の爲め出發するが希望者は八十名であると

# 職人風の男の

## がま口に大金

### 主人の金を拐帶

#### 強盜事件の副産物

石城郡小名濱町字明神町そば屋相馬屋山口甚吉方で昨夜八時半頃職人風の青年が二圓餘の飲酒をなし大金入りの墓口を出して支拂つて居るのを平町の強盜事件

# 逃走酌婦の

## 情夫を袋叩き

### 質使ひ婆さんを脅迫

#### 小名濱料理組合幹部處罰

石城郡小名濱町字古湊二十一番地料理屋營業本帳直(四)同町字上町四十二番地料理屋營業大澤翁(三)同町字橋本三十二番地料理屋營業相澤寅松(四)の三名は小名濱料理屋組合幹部であるが、昨年十一月二十八日同組合員惠比壽屋高源新助方抱酌婦鈴木タツミが、逃走した事に付て新助方二階に右タツミの情夫益子實及び衣類の入置を斡旋した中野キンの兩名を招いだ際共に益子を毆打し暴行を加へキンの對しても皆で毆打した上「監獄の飯を食せてやる」と言つて脅迫をなし暴力行為として本日平區裁判所に

明日の天気

今晩は驟雨気味

明日は南東の風

曇り驟雨後良くなる

## 今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話「あふないおはなし」
- 醫學博士西谷宗雄
- 後六、三〇 山と海の講座
- (三)木曾の御嶽と駒ヶ嶽
- 帝室林野局名古屋支局長 眞崎脩
- 後七、三〇 運動講座「都町に入り海水浴客を装ふて居たものと判明した

ユース 氣象通報

明日の部

前九、一〇 料理献立「若鳥キヤベツトマト煮」朝倉長吉

前一〇、三〇 婦人講座「山と人」文學博士鷺尾順敬

前一一、二〇 運動競技「雨天順延」第六回全日本都市對抗野球大會状況

明治神宮外苑球場より中継

後一〇、〇〇 オリンピック大會状況(米國ロサンゼルス放送局より中継)

吹奏樂 豊島園音楽隊

指揮久松鑑太郎

後七、三〇 講演「農家救済問題に就て」九州帝大教授農學博士澤村康

後八、〇〇 義太夫「伊賀越道中」六「豊竹駒太夫三味線豊澤廣助 胡弓鶴澤友駒

後八、五〇 哥澤 哥澤芝加睦太夫

後九、〇〇 新内「お俊傳兵衛」富士松喜遊 三味線富士松遊伎之助 上調子富士松遊伎之助

後九、三〇 満洲より

## 明日の部

- 違反として罰金二十圓
- △平町才地小路三十一番地自動車運轉手佐藤正壽(三)は本年六月十一日乗合自動車運轉し小川村より平町に進行中平窪村大字上平窪字君ヶ澤地内に於て松本ノブ(五)に衝突せしめ全治迄約一週間の要する傷害を與へ業務上過失傷害罪として罰金二十圓
- △同郡上遠野村大字根岸字橋場四十二番地自動車運轉手箱崎基平(三)は去月一日貨物自動車に高野テツ(五)及び助手馬上政雄(三)の兩名を乗せしめ東京市より平町に進行中茨城縣多賀郡日高村地内に於て午前五時頃疲勞の爲め假睡し操縦を誤り同所道路右側の川底に墜落し高野テツの頭部其他に全治四週間の要する打撲傷又助手の頭部鎖骨部に全治三週間の要する打撲傷を各與へ業務上過失傷害として罰金六十圓に本日各々平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

## 平裁判たより

△石城郡湯本町大字湯本字辰ノ口四十三番地自動車運轉手

## 病氣の身を

### 妻に虐待され

## 山林内で自殺

石城郡好間村大字北好間字大館居住無職岩谷庄三郎(四)は昨二日午後二時頃同村北好間松坂山林地内で縊死して居るのを通行人が発見届出たので平署で検視し

## 放火娘

### 梅代の公判

既報石城郡内郷村大字高坂字高橋一番地ノ一無職齊藤梅代(二)假名が本年五月二十九日午後九時頃夫婦約束した同村大字白水字濱井場一番地磐城炭坑夫長屋居住佐藤武が他に情婦あるを知り欺かれたと恨み同村人方へ放火した事件は去月十二日豫審終結したが公判は来る二十六日午前九時より平支部公判廷に於て中島裁判長係り、關口、竹内兩判事陪席、市川検事立會、門傳辯護士列席の上開廷する事になった

時計眼鏡

トキワ

平一電三三九





【禁載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲書

第百十七席 眞庭念流の達人櫻井五助

無理酒で酔はす

おやまは縮緬の部屋着に色の扱帯をしめ、頭は島田桃で白い葛引をかけ、本鼈甲の角櫛をさもあまり厚いと野暮になる、薄いと物欲しさう厚くなく薄くなく癪癪持が奈良漬の香々を切つたやう、恐ろしく手数のかゝる櫛、銀簪で髪トを搔きながら、

やま『親分今来たの』

云ひながらそれへ坐つてニッコリ笑ふ眞白な齒が見えたが千萬無量の愛嬌がある、

林『マア一杯飲みねえ、そこで、おやま一體どういふ話があるんだ』

聞かれておやまが今夜こそ林藏をとりこにして先達世を去つた高萩の猪之松の敵を討たうと一生懸命林藏はそんな事は知らず飽迄も時次郎だと思つてゐる、

やま『ねえ親分、この間お前さんが云つた事はあれは嘘ぢやあるまいね』

林『何を云つたかナ、俺は忘れて了つた』

やま『其だからお前さんの心を能く聞いて置かなければ安心が出来ないん』

やま『この間何とお云ひだいて、借金を拂つて家に伴れて行くと云つたぢやアないか』

林『シム、それは俺もどうか、一日も早くお前を泥水から、浮び上がるやうにし



て遣りてえとは、思つてゐたが、今の所では懷中都合が悪いから茲一月ばかり待つてくれ』

やま『それは一月や二月待つたところ、構はないがお前さんは浮氣者だからそのうちにどう心が狂ふかも知れないと思ふとわたくしはそ

れが心配で』

の姐御になると言ふ事を知らしたなら嘘を喜ぶだらうと憐れ言つて居たがねどうか此頃には伯母さんと種々相談をしておくんなさい』

林『アいゝとも、伯母さんと呼ぶが、いゝ、ゆつくり話をしよう、それに就ておやままだ何程ばかり借金があ

やま『さうだね百二十三十兩あるだらうか』

林『百二十三十兩引祝ひをする入費を入れると百五六十兩要るナ、まアいゝや、俺が少し錢儲けを見つけて置いたから、來月中にはその位な金は出来るだらう、金が出来次第直に身受けをし

やま『一日も早くお前さんの傍へ行きたいね然しお前さんは氣が多いから先の事が案じられて』

林『又始めやアがつた、そんな年越苦勞をするナ、俺は一旦てめえを女房にすりや主人のやうに大事にしてやる』

平町新川端(釜屋新宅向)  
内科 醫學博士 難波 睦  
一般 電話 五〇二番

暑中御伺ひ申上ます  
長い間御不自由をかりました  
ハシモトヤ糸店 電話十四番

高ス病院  
院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科  
平町田町 電話五一三番

お醬油は ヤマフル  
醬油味噌 たひら 正宗 鯉節 食料品  
金 山崎合名會社  
鹽屋 福島縣平町電話營業部二釀造工場  
明治生命磐城代理店 山崎與三郎